

平成20年度当初予算 重点的な取組別概要
< 重点事業 >

元気1:「人間力」の向上/みえの人づくり(主担当部:教育委員会)

< 重点事業の目標 >

少人数教育の取組や校種間の連携、スポーツによる人づくりを通じて、次代を担う子どもたちが、基礎・基本の学力だけでなく、それを実生活のさまざまな場面で活用する力やコミュニケーション能力、公共心や規範意識などをしっかりと身につけ、それぞれの個性や能力に応じて、将来、自立した一人の人間として社会に参画し、力強く生きていけるよう、「人間力」を高めるという視点を大切にした「みえの人づくり」を進めていきます。

< 構成事業(担当部) >

- (1) 30人学級をはじめとする少人数教育推進事業(教育委員会)
- (2) 育ちのリレー推進事業(教育委員会)
- (3) 特別支援教育総合推進事業(教育委員会)
- (4) 信頼される教職員人材育成・自ら創る学校支援事業(教育委員会)
- (5) 地域スポーツ・競技スポーツサポート事業(教育委員会)

< 重点事業の事業費 >

(単位:千円)

H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
(1,888,503)	(1,963,000)		
1,897,498	1,971,133	2,018,000	2,035,000

H19年度は現計予算額、H20年度は当初予算要求額

H19およびH20年度の上段括弧書き、H21年度、H22年度は第二次戦略計画の記載額

< 重点事業の数値目標 >

目標項目		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
学校に満足している児童生徒の割合	目標値	-	70.5%	72.0%	73.5%	75.0%
	実績値	68.8%				

小学校5年生、中学校2年生、高等学校2年生の児童生徒を対象とする「学校生活についてのアンケート(授業内容の理解、質問できる雰囲気、相談できる雰囲気、学校生活の安心感、目的意識の有無、学校施設への満足度の6項目)」の平均値から算出した、学校に満足している割合

< 構成事業の目標 >

目標項目		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
(1)授業内容を理解している小中学校の児童生徒の割合	目標値	-	85.5%	87%	88.5%	90%
	実績値	83.8%				
(2)育ちのリレー推進会議を開催している市町数	目標値	-	7市町	14市町	21市町	29市町
	実績値	-				
(3)個別の教育支援計画を策定している学校の割合	目標値	-	60%	70%	80%	100%
	実績値	48.2%				

(4)学校経営品質に基づき改善活動に取り組んでいる学校の割合	目標値	-	52%	62%	72%	80%
	実績値	42%				
(5)総合型地域スポーツクラブ数	目標値	-	48 か所	51 か所	54 か所	57 か所
	実績値	45 か所				

<進捗状況（現状と課題）>

- ・少人数教育を推進するなど、一人ひとりに応じたきめ細かな教育を進めてきましたが、今後も児童生徒の学習意欲を高める取組を充実し、学力の定着と向上につなげていく必要があります。
- ・子どもたちが楽しく安心して学校生活をおくることができるよう、相談体制の充実などを進めてきましたが、引き続き、校種間の連携を一層進めるなどして子どもたちが安心して学習できる環境づくりを進める必要があります。
- ・障がいのある児童生徒一人ひとりの個性や能力を伸ばし、自立や社会参画が可能となるよう、関係機関とも連携し、早期からの一貫した支援体制を整備する必要があります。
- ・スポーツに親しむ機会の充実や、競技力向上への支援を通じた次世代の人づくりが求められています。

<平成20年度取組方向>

30人学級をはじめとする少人数教育を着実に推進するとともに、就学前から高等学校までの連携を一層深めることにより、子どもたちをとりまく環境の変化や学習ニーズの多様化に対応しながら、子どもたちの学力・人間力を高めます。特別支援教育については、障がいのある子どもたちに的確に対応できるよう環境の整備を進めるとともに、一人ひとりが能力や可能性を伸ばせるよう早期からの一貫した支援体制を整備します。

三重県型「学校経営品質」に基づく学校自らの継続的な改善や、研修内容の充実と研修機会の拡充による教職員の資質向上に取り組み、信頼される学校づくりと教職員の人材育成を進めます。

「総合型地域スポーツクラブ」の創設や指導者育成を支援して県民の多様なスポーツニーズに対応します。また、各競技団体と連携して選手の育成等を進め競技力の向上に取り組みます。

<主な予算要求事業>

学力向上支援事業【20年度予算額 16,880千円】(事業(1)の一部)

児童生徒の学力の定着・向上をはかるため、授業方法や評価方法等の工夫・改善や補習への取組を支援するとともに、県独自の学習教材を作成します。また、学習指導要領改訂に伴い説明会を開催し、新学習指導要領の円滑な実施を支援します。

教育改革推進事業【20年度予算額 3,549千円】(事業(2)の一部)

子どもたちをとりまく環境の変化や学習ニーズの多様化に対応するため、三重県教育改革推進会議を開催し、学習者等の視点に立って三重の教育のあり方を検討するほか、今後の学校運営のしくみなど、教育全般における改革を推進します。

学びのステージ創造推進事業【20年度予算額 6,532千円】(事業(2)の一部)

幼保小中の学びの連続性を考慮した教育・保育の充実や、幼保小中の間はもとより地域住民や保護者、有識者とも連携した地域の教育力の発掘をはかり、子どもの健やかな育ちを支援します。また、中学生が熊野古道をはじめとする「郷土三重」についての理解を深めるための教材を開発し、三重県について自信をもって発信できる人づくりを進めます。

学校・地域との協働によるキャリア教育実践事業【20年度予算額 49,196千円】(事業(2)の一部)

児童生徒が、望ましい職業観・勤労観や主体的に進路を選択する能力・態度を身につけ、将来、自立した社会人として積極的に社会参画できるよう、学校と地域、事業所等が連携をはかりながら発達段階に応じたキャリア教育を推進します。

高校活性化推進事業【20年度予算額 6,815千円】(事業(2)の一部)

時代の変化や生徒の多様なニーズに対応して、各高校の特色化、魅力化をはかる取組を支援し、県立高等学校再編活性化計画を推進します。

親学推進事業【20年度予算額 5,817千円】(事業(2)の一部)

子育て中の親や近い将来に親となる世代に、親の役割や子育て・家庭教育等について学ぶプログラム等を活用した学びの機会を提供し、親の「学び」や「育ち」を支援します。

特別支援教育総合推進事業【20年度予算額 3,868千円】(事業(3)の一部)

特別支援学校が、各地域において特別支援教育に関するセンター的な機能を発揮できるよう、自校の専門性を向上させるとともに、小中学校等を支援する体制の充実をはかります。

自ら創る学校支援事業【20年度予算額 17,250千円】(事業(4)の一部)

学校経営品質について、小中学校、県立学校での取組の定着、発展をはかるとともに、未実施の小中学校への拡大を進め、継続的な改善活動に取り組むことにより、児童生徒、保護者、地域から信頼される、活力ある学校づくりを推進します。

トップアスリート養成事業【20年度予算額 92,040千円】(事業(5)の一部)

各競技団体が、県内各地域の優秀な素質を持つジュニア競技者をスポーツ教室等により発掘し、一貫した指導体制の下で、競技者の身体の発達や競技レベルに応じた組織的・計画的な育成に取り組み、国内外で活躍できるトップアスリートの養成を効果的に進めます。

